

移住定住、空き家、子育て支援だけじゃない。 これからの防災どう考えるの？ 災害に強いまちづくりへの第1歩とは――。



少子高齢化や人口減少が進む中、これまで当たり前だったことができなくなる時がいつかやってくる。「防災」もその一つ。
社会が大きく変化する中、自然災害に私たちはどう立ち向かっていけばいいのか。そして、災害に強い地域をつくるにはどうすればいいのか。
4月に新たに配置された天野智^{あまの ちか} 危機管理監に話を聞いた。

――まずは、新たに危機管理監を置いた目的などを町防災担当者に聞いてみたいと思います。

影井 とにかく町や地域の防災体制の強化が一番の目的ですね。少子高齢化や人口減少が進む中、災害に強いまちをつくるためには、「防災」のスペシャリストが必要だと考えています。

――現在、移住定住や子育て支援など地方創生ばかりが叫ばれていますが、「防災」もまちづくりにとって切っても切り離せない関係といえますよね。

影井 はい。だからこそ、今回就任された天野さんには、これまでの経験を生かし、災害時の対応をはじめ、

くのではないかと危惧しています。

――地域コミュニティの変化は地域防災力の低下にもなりかねません。今後、どうしていったらいいのでしょうか。

影井 まずは、地域の皆さんが不安に感じている点を、気軽に相談してもらえ体制や環境を整えることが大切だと考えています。現在、各自治会で行っている行政懇談会のようなイメージですかね。

天野 そのためには、こちらから防災に関するさまざまな情報を発信していく必要があると考えています。ハザードマップや防災マップ、福祉避難所などの周知も必要です。その上で、地域のニーズをしっかりと把握し、自発的な防災への取り組みをサポートしていきたいと考えています。

――将来を担う人材の育成も重要です。

影井 町では、子どものころから段階的に防災意識を高めるため、保育所などで消防団による防災教育を行っています。また、県の防災士養成研修の受講を積極的にすすめています。

この資格は、地域の防災リーダーを養成するためのもので、平常時には自助・共助の考え方や取り組みを広げてもらい、災害時には共助の取り組みの指導や助言を行います。皆さんにはこうした資格を

対応していったらいいのか。シンプルにできるところはできるだけ簡素化しながら、今の内から見直しを図っていかれたらと考えています。

――確かに、実際の現場では情報が錯綜したり混乱したりすることも考えられます。

天野 装備や戦術面など、現場での活動体制も必要に応じて今後見直していくこともあるかもしれません。町消防団の廣川団長も同じ町内で年齢も近い。消防団とも連携を密にしながら、上手くやっていきたいですね。



――担い手不足や人員確保など、少子高齢化や人口減少に伴う課題は、地域にも大きな影響を及ぼし始めている。

天野 行政懇談会や地域の集まりなどで皆さんの声を聞くと、避難所運営など、「防災」に関する話題に前より敏感になっていっていると感じています。地域のコミュニティも変化しているなど。将来、「自助・共助」といった地域の良さが失われてい

町の防災計画や消防団、地域の防災体制への助言などに力を発揮していただきたいと思います。

――天野さんは、今年3月まで鳥取県西部広域行政管理組合の消防局に在局。まさに防災のスペシャリストといえますよね。これまでの経験やノウハウを生かした手腕に期待がかかります。

最近では、3カ月続けて町内で火災が発生したり、4月に発生した島根県西部を震源とした地震で町内でも震度4を観測するなど、いつ自然災害などに見舞われるかわかりません。

町の防災体制をさらに強化していく上で、必要なことなど何か感

積極的に取得してもらい、今後の自治会での防災活動に役立ててもらいたいと思います。

天野 自主防災組織を立ち上げ、自発的に地域防災力の維持・向上に取り組んでいる地域は多く見られます。特に、黒坂地区は災害発生時における初動体制や地域の役割をしっかりと理解され、取り組まれていると感じます。そうした高い防災意識や経験をぜひ、次世代に伝えてほしいと思います。

目指すのはボトムアップ型の防災力強化。意見交換の場や研修会、訓練などを通し、皆さんの声や地域のニーズをしっかりと把握していきたいです。行政と地域の自主性を重ねて、互いの理解を深めていくことが、災害に強いまちづくりへの第一歩、そして地域コミュニティの活性化にもつながっていくのではないのでしょうか。

あまの ちか
天野 智

日野町根雨。前鳥取県西部広域行政管理組合消防局長。平成30年4月より、日野町役場危機管理監

防災に関することなら何でもご相談ください！

危機管理監や町防災担当者があなたの地域の防災力アップをお手伝いします。

【問合せ先】

役場総務課（電話72・03331）